

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2017～2018年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 幹 事	長 高橋 秀樹	第2523例会	2017/ 7/31
例会場：パレスホテル大宮	公 共 (メー)	染谷 義一	発 行 日	2017/ 8/21
例会日：月曜日12:30～13:30	向 上 委 員 長	石丸 主憲	週 報 当 番	石丸 主憲

会長あいさつ

会長 高橋 秀樹

皆さんこんにちは。本日は第8 G越谷南RC 赤松会長・中村副幹事・長澤会員増強委員長、第3 G大宮中央RC 坂会長・入江幹事、そして岩槻東RC 丹野会長・山崎幹事の皆様にお越しいただきまして本当にありがとうございます。そして、今日ご本人がいらっしゃいますので、嬉しい事をあらためて申し上げます。新藤信夫会員が7/10付でさいたま市議会第15代議長にご就任されました。心よりお祝い申し上げます。本当におめでとうございます。新藤会員にはのち程就任のご挨拶をお願いいたします。



さて、本日は、長期計画委員会担当例会で、各テーブルで、テーマに沿って意見交換をしていただく予定になっています。お客様の皆様も同じテーマで議論をしていただきたいと思いますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。意見交換の時間をたっぷり取りたいと思いますので、“ロータリーあれこれ”の話は次回に廻すことにして会長挨拶はこれで終わらせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

お客様ご紹介

田口修身 副会長

第8グループ越谷南ロータリークラブ

会長 赤松則宏 様、副幹事 中村直弘 様
会員増強委員長 長澤幸義 様

第3グループ大宮中央ロータリークラブ

会長 坂 仁視 様、幹事 入江信仁 様

第4グループ岩槻東ロータリークラブ

会長 丹野寿明 様、幹事 山崎和雄 様

お客様ご挨拶

第8グループ
越谷南ロータリークラブ
会長 赤松則宏 様



第3グループ
大宮中央ロータリークラブ
会長 坂 仁視 様



第4グループ
岩槻東ロータリークラブ
会長 丹野寿明 様



新藤信夫会員ご挨拶

新藤信夫 会員

ただいまご紹介をいただきました当RCの新藤信夫でございます。

本日は、タイトなスケジュールの中、私の関することのご報告で貴重な時間を取っていただき感謝致します。

さて、私は7月10日の6月議会最終日の議長選挙においてご選任をいただき、同日、第15代さいたま市議会議長として就任をいたしました。

14年に渡る議員活動の中で最も重い役職です。128万さいたま市民の付託に応える市議会として、公平、公正で円滑な議運営に努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

なお、議長の任期は、順調に進めば、平成31年の統一地方選挙までの2年10ヶ月程となります。長期間ではありますが全力で勤めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上ご報告と御礼のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



ロータリー家族とともに行動し ともに感動する
(55周年 全員で前進する ー 全・進 ー)

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



幹事報告

幹事 染谷義一



越谷南RCさん、大宮中央RCさん、岩槻東RC、当クラブの例会によろこお越し頂きました。ありがとうございます。

「幹事報告をさせていただきます」

1. 上期の年会費納入が7月末日となっておりますので宜しくお願い致します。
2. 第4Gの最後の表敬訪問先、大宮北東RCさんへ明日、会長と参加してまいります。
3. 本日例会終了後、新見年度の決算と高橋秀樹年度の予算につきまして、クラブ協議会がございます。会員皆様におかれましてはお時間を頂きます様、お願い致します。
4. 事務局さんのお盆休みは8/11～17となります。
5. 今月の受付当番の皆さん1ヵ月間ありがとうございました。

会員卓話(ディスカッション)

担当：長期計画委員会

長期計画特別委員会 委員長 内山泰成



本日は長期計画担当例会として、ディスカッション例会とさせていただきます。

その前にRIの戦略計画と大宮西RCの戦略計画について簡単にご説明させていただきます。

*国際ロータリー(RI)の戦略計画には3つの優先項目と5つの中核的価値観で構成されています。

*3つの優先項目には具体的な目標が16項目示されています。

注目すべき点は3つの優先項目が夫々関連性をもっている点だと思います。

人道的奉仕を実行すれば、地域社会の評価が良くなり、公共イメージの向上におのずとつながります。

公共イメージが上がることにより、賛同者が増え、会員増強や、クラブのサポートと強化につながります。

*このRIの戦略計画をもとに作成したのが、大宮西戦略計画です。

具体的な目標はクラブ独自のものであり、その内容は各委員会の目標となるように作成されています。

*さらに高橋年度がこの目標に向かい、今年度と

くに実行する内容が年度年次目標になっております。

高橋会長は皆様よくご存じのようにピンクリボン運動の発案者でもあり、奉仕事業には多大な尽力をしておりますが、今年度は55周年の年であり、ロータリー家族を意識してメンバーの親睦をより深める、クラブのサポートと強化を重点においているのではないかと思います。

大宮西クラブの戦略計画の説明とさせていただきます。

ディスカッションの目的

長期計画特別委員会 委員 荒井伸夫



仕事の話はロータリークラブ内では長らくタブーという空気がありました。

今、我々はそのロータリーにおける仕事の話、ロータリーの原点である相互扶助について、真正面から、取り上げてみたいと思います。

ディスカッションテーマ①

ロータリー内での相互扶助についてどのようにお考えですか？

小木曾リーダー

- ・あからさまでなければ良いのでは
- ・様々な業種の方が集まるなか、交流し、ビジネスに繋がればよい、しかし名簿などを利用してガツガツした営業はいかがなものか。
- ・お客様に頼まれて入った、ビジネスのためである。
- ・信頼関係ができた後にビジネスの話をするべきである。

《仕事の話をするのはいけないというメンバーはいませんでした》全員賛成

高橋真リーダー

- ・互恵取引はもっと進めるべきである。
- ・良いと思う

伊田リーダー

- ・互恵援助することはビジネスにも非常に有益である。
- ・かつて(25年前)ロータリーは奉仕の気持ちを優先すべきであり、ビジネスは二の次といわれていた。しかし会員数は下降の一途をたどることとなる=人脈を作って仕事に活かすことが大切である。

《人脈を作り、延いてはビジネスに反映させることが大事、先ずは積極的な交流をすべき》

福田リーダー

- ・仕事を通して人脈が広がる、色々なイベントの手伝いが有効
- ・大宮西RCはオープンなので、人脈を作りやすい、一般的なRCとは違う
- ・勉強させてもらっている大切な場所である。人間、人格形成になる。
- ・様々な業界のプロがいるので相談できる。相談を受けることが仕事につながる。
- ・年齢など関係なく色々な勉強ができる

新見リーダー

- ・これまで、仕事の話がタブーだとは思わなかった。
- ・加入のきっかけは仕事の付き合い上だったが今は物質的な互惠補助以上の価値を感じている。
- ・ロータリーに加入したことで、色々な仲間ができ、相互の助け合いになっている。
- ・日本のロータリーの歴史上、当初はかなりのハイソサエティーがメンバーであり、友人同士での仕事の話は野暮なこと、という風潮があった、それが徐々にハイソサエティーのクラスから一般企業オーナーの入会に伴いハードルを下げ互いの商売、互惠補助をしようと変わっていった経緯がある。

田口リーダー

- ・会社への還元は必要、有意義な時間も必要
- ・公の時間をつかっているので、相互補助はあってもよい、あるべき。
- ・仕事とロータリーのバランスが重要だと考える。
- ・逆に仕事の話ができないのは不自然である。
- ・その人次第でよいと思う、情報の交換、結果としてビジネスになるので良いと思う。
- ・仕事の付き合いが入会のきっかけ、その流れなので、相互補助は自然なこと、バランスが大事

木本リーダー

- ・時代が時代なので、原価程度の取引なら良いのでは
- ・異業種間の交流は勉強の為にも多いに必要
- ・お客さんとしてのロータリー仲間はいない方が良く、なぜなら遠慮の感情が入ってしまうので
- ・原則的にロータリー間の取引関係はOKと考える

山崎リーダー

- ・知人を増やす
- ・商売にはつながらないが人脈は築ける
- ・紹介者へ迷惑を掛けない様に活動する

- ・年齢層が幅広い為、幅広く情報が得られる
- ・地域へ貢献
- ・大宮での存在感

高橋秀リーダー

- ・相互扶助は9名全員賛成。
- ・互いの信頼関係が構築されてから相互扶助は始まる。
- ・会員間での取引では値引きをせず、利益が出たらその一部をスマイルに還元するといったこともできる（実行されている会員がいる）。
- ・「利益」とはお金のことだけではない(信頼等)。

ディスカッションテーマ②

ロータリーのメンバーで互いに仕事をする上で何が大切だとお考えですか？

小木曾リーダー

- ・信頼関係を築いたうえで
- ・囲い込む、仕事を紹介する、失敗しなよう、悪い評判がたたないようにしている

高橋真リーダー

- ・四つのテストに内容が合うかどうか

伊田リーダー

- ・一定のルールを遵守することが大切
- ・仲間意識
- ・ビジネスオンリーとしないことも大切
- ・ロータリーのことを考えなければならない
- ・一方で会社の人間でもある
- 《ごまかさないメンバー相互の信頼関係が大切である》

福田リーダー

- ・仲間同士の仕事なので責任が重大、難しい部分もある
- ・メンバー同士では、逆に気遣いが大変な部がある
- ・クレーム時に対応できる関係がないと難しい
- ・申し込み等をもたらった場合は、ロータリアンとして特別にみている
- ・色々な相談をしたいと思う
- ・ロータリーの精神を理解しているかどうか大切
- ・職業奉仕を考えながらの対応が必要
- ・コミュニケーションが大切

新見リーダー

- ・信頼関係が重要
- ・一般的な取引と同じでよい、特別な値引きの必要はない
- ・仕事がかうまくいかないと衝突して、どちらかが辞めてしまうのでは、そこをどう考えるか

- ・例会に参加していくことで、色々な関係ができてくる
- ・誠意が必要
- ・ロータリアンは『善意』の気持ちが大切なのです。

田口リーダー

- ・距離感
- ・うそをつかない、過大な情報はダメ、正しい情報を早く
- ・通常の仕事と異なる
- ・信頼の部分は重要

木本リーダー

- ・自己主張が強すぎてはだめだと思う相手を尊重する気持ちが大切
- ・大きなお金の貸し借りには大いに注意する必要あり
- ・ロータリアンどうしの金の問題で辞めた人も現実的にいる

山崎リーダー

- ・地元密着（大宮での関係作り）
- ・お互いを良く知る事
- ・楽しい知人関係

高橋秀リーダー

- ・純粋な関係
- ・仕事ありきではない関係

ディスカッションテーマ③

ロータリアンに参加して自分の仕事に何か影響を受けたことがありますか？

小木曾リーダー

- ・多くの人と知り合えて勉強になる
- ・相談できる仲間に出会った
- ・会う人物のスケールがアップした

高橋真リーダー

- ・創業社長の話は為になる

伊田リーダー

- ・ロータリアンに入って仕事をもらっているか？まったくナシの意見はない
- ・卓話は有効、人間の幅が広がる
- ・ロータリアンの中に目標とする人物がいた
- ・奉仕活動を通じて色々なことを教われる（障害者施設での奉仕）
- ・ビジネスの勉強ができた
- ・高橋誠一さんの観点に勉強させられる
- ・ステータスを感じる
- ・定期的に地元の客に会える

《様々な意見をもつ方々が集まっており、また奉仕活動や卓話を通じて人間的な幅が広がり延いては仕事に有形無形の効果をもたらしている》

福田リーダー

- ・考え方に影響を受けた
- ・今までのやり方が正しいのか？と考えるようになった
- ・大先輩より「続ける」ことの大切さを学んだ
- ・まだ影響はうけていない
- ・良い出会いが楽しみ

新見リーダー

- ・話を聴くことで自分も感化された
- ・自分を成長させてくれる、人生道場である
- ・仕事の時間調整ができるようになった
- ・年齢によって若いうちはどうしても仕事中心、60を過ぎると余裕が生まれロータリーに対する考えも変わってくる

田口リーダー

- ・しっかり仕事をすれば還元されるという考えをもった
- ・人のために行動すれば結果として戻ってくる

木本リーダー

- ・色々な人の意見を聞き、相手の気持ちになりきる必要性を勉強した
- ・ロータリーの組織づくりが自分の仕事の組織づくりに大変役立った

山崎リーダー

- ・ロータリーをきっかけに仕事を得る事がありました。

高橋秀リーダー

- ・社長は孤独。同じ立場だからこそ悩みも共有でき、考え方等、参考になる異業種交流の良さだと思う
- 「会員の増強」について一言。
- ・入会を勧めるとき「会社が儲かる」との誘いをしてはダメ、最後に行き詰る。
- ・地域によって企業のタイプがまちまちです。地域性を考えて増強しなくてはならない。

《まとめ》

今回のディスカッションテーマはロータリー内の相互扶助についてでした。年代や、経験年数によって、様々なご意見が出されたと思います。

クラブ内にて会員同士がディスカッションをすることにより、お互いを知るきっかけになり、ロータリーについても理解を深める機会になったのではないのでしょうか。

長期計画委員会では皆様の貴重な意見をもとに、さらに掘り下げた討議をし、戦略計画に活かしていきたいと考えます。

最後にディスカッションリーダーの皆様、熱心にご参加いただいた会員諸兄に感謝申し上げます。



テーブル毎にディスカッション

